

第55回 宇宙科学・探査小委員会 議事要旨

1. 日時：令和5年5月18日（木） 10:00-12:00

2. 場所：宇宙開発戦略推進事務局大会議室

3. 出席者

(1) 委員

常田座長代理、関委員、永田委員、山崎委員

(2) 事務局（宇宙開発戦略推進事務局）

河西局長、坂口審議官、渡邊参事官

(3) 関係省庁等

文部科学省研究開発局宇宙開発利用課

上田課長

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）

佐々木理事

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所（ISAS）

國中所長

4. 議事要旨

(1) 月面ミッションフィージビリティスタディについて

資料1を用いて、JAXA から月面ミッションフィージビリティスタディについての説明があった。

委員からは、以下のような意見があった。

（○：意見等）

○月面の科学について JAXA で1年間検討してもらい、アルテミスと連携して科学の面からの進展が見られたことは成果だと思う。

○ISSで実証できるものについては、実証を進めるべきではないか。

○「第一級の月面科学を実現するためのシナリオと実現性の検討」に関して、共通技術はどのように同定するのか？

○今回のFSの結果が、有人与圧ローバーの開発にどのように役立つのかを今後説明してもらいたい。

○基礎研究の研究者コミュニティが入ってきて、有人のチームと連携が進んできたことは評価できる。これを、今後どのように発展させていくのか？出口を見据えて、実現していくことが重要である。

(2) 次期宇宙基本計画工程表（案）について

資料2の「現行宇宙基本計画工程表」及び参考資料2「次期宇宙基本計画（案）」を用いて、事務局から、次期宇宙基本計画工程表（案）の宇宙科学・探査部分の作成について説明があった。

委員から、工程表について以下のような意見があった。

(○：意見等)

- フロントローディングの位置づけを分かりやすくしてもらいたい。様々なミッションに貢献するということを分かりやすくしてもらいたい。
- 次期基本計画で次期ミッションなど「検討する」と記載されている内容については、JAXA で具体的な検討のうえ、今後説明してもらいたい。
- ポスト ISS の検討については、関係省庁との連携をしっかりとってもらいたい。
- 月面における持続的な有人活動の項目において、科学の記載も検討してもらいたい。10 年間月だけを見ていると世界に取り残される可能性がある。火星、その他への技術応用なども考慮に入れてもらいたい。
- 線表について、いつまでに何を実施するのかを、できるだけ具体的に記載してもらいたい。

以 上